

2017年 2月 15日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜多悦子 殿

2016年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

活 動 課 題

地域で多世代多職種で支え合う街に・・・

活動団体名：一般社団法人 在宅看護センターミモザ

活動者（助成申請者）名：長澤祐子

活動報告書

長澤祐子

I 活動の目的

在宅でのサービスを知ってほしい
日本の医療介護の現状を知ってほしい
訪問看護の啓発（訪問看護の利用方法、介護保険の手続き、在宅看取りについて等）
地域のニーズ調査、関係の構築

II 活動の内容・実施計画

月1回の講演会

8月28日 暮らしの保健室から見えてきた地域の暮らしぶり/杉本みぎわ

9月25日 訪問看護とは訪問看護が出来ることは/上野幸子

10月16日 宗像市における在宅看護/阿部久美子

11月27日 この街で最期まで生きるために大切なこと/松本京子

12月18日 あゆみの会クリスマス/スリーピンズ

(メゾ：太田愛子、アルト：江上英子、ソプラノ：橋口やなこ、ピアノ：秦久恵)

2月4日 多職種で支える高齢者の生活から看取りまで/桑田美代子

2月11日 認知症の理解と予防/園田薫

III 活動の成果

1回目から7回目までで250名の参加があった。

アンケートから受講者の世代の傾向、家族傾向、心配事、将来の暮らしの希望、訪問看護の理解などが調査出来、当センターが認知され地域の公民館からどうやったら在宅での生活が可能なのか！訪問看護が出来ることを教えてほしい等声がかかるようになった→顔の見える関係が少しずつ広がっていている→助け合いが出来る

IV 今後の課題

参加できない人にどう伝えていくか又継続していくことが大切だと考えるため今後も講演会という形でなくとも地域向けの啓発活動が続けていく。集まりやすい環境づくり（センター内に図書コーナーをつくる。健康相談日を定期的開催。出張講座。シニアクラブ、民生委員さんとの座談会。現場に出る他職種連携会。等）病院受診率の低下、在宅看取りの増加、相談日の相談件数の増加などの結果が出たら宗像在宅看護センターモデルを発信していきたい

V 活動の政党の公表予定

現在なし

「この活動は、公益財団法人笹川記念保健協力財団の助成を受けて実施しました」
地域で多世代・多職種で支え合う街に…

第1回講演会（講師／杉本みぎわ）
暮らしの保健室から
見えてきた
地域での暮らし

2016.8.28 日

- 場所／在宅看護センターミモザ ●開演／10:30～12:00
- 対象／地域住民の方 ●定員／50名 ●参加費／無料
- 講師プロフィール／暮らしの保健室PR大使
福岡県立大学看護学部ヘルスプロモーション看護学系在宅看護学助手

訪問看護とは
訪問看護ができるセンター
第2回講演会（講師／上野幸子）

2016.9.25 日

- 場所／在宅看護センターミモザ ●開演／10:30～12:00
- 対象／地域住民の方 ●定員／50名 ●参加費／無料
- 講師プロフィール／前佐賀県看護協会訪問看護ステーション統括所長
佐賀県医師会在宅医療介護連携推進センター相談員

日本財団在宅看護センター
在宅看護センターミモザ

〒811-3425 福岡県宗像市日の里1-31-1（東郷駅日の里口）

■お申し込み・お問合せ・詳細などは下記までご連絡ください。

TEL:0940-37-0046

FAX:0940-37-0048

mail/mimoza.hinosato@gmail.com